

2026年3月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 アクセリア株式会社 上場取引所 東
コード番号 271A URL <https://www.accelia.net/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 牧野 顕道
問合せ先責任者 （役職名） 取締役CFO （氏名） 高橋 裕次 TEL 03 (5211) 7750
中間発行情報提出予定日 2025年12月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期中間期の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	594	12.5	△ 27	—	△ 28	—	△ 23	—
2025年3月期中間期	528	—	△ 21	—	△ 18	—	△ 9	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△ 34.54	—
2025年3月期中間期	△ 14.06	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	765	412	53.9	599.99
2025年3月期	789	439	55.7	639.53

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 412百万円 2025年3月期 439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	0.00	5.00	5.00
2026年3月期	0.00		
2026年3月期（予想）		—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2026年3月期の予想配当額は未定であります。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,271	10.4	5	3,544.3	2	△ 44.2	1	1,618.4	1.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 中間財務諸表及び主な注記(4) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	834,000株	2025年3月期	834,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	146,500株	2025年3月期	146,500株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	687,500株	2025年3月期中間期	687,500株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）における我が国経済は、物価上昇が続いていることに加え、関税問題の先行き不透明感や継続する地政学リスクなどにより、依然として先行きを見通しにくい状況が続きました。

このような環境下、当社におきましては主軸のCDNサービス事業において、前事業年度から引き続きCloudflare社の協力のもと順調に案件数が増加しており、新規顧客獲得が想定を上回りました。また、新たに取り扱いを開始したセキュリティ製品の案件獲得が進むなど、セキュリティ分野においても実績を積んでまいりました。

この結果、当中間会計期間の業績は、売上高は594,127千円（前年同期比12.5%増）、営業損失は27,634千円（前年同期は21,221千円の損失）、経常損失は28,187千円（前年同期は18,510千円の損失）、中間純損失は23,743千円（前年同期は9,663千円の損失）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における流動資産は、前事業年度末より42,478千円減少し646,014千円となりました。これは主に前払費用で59,144千円増加したものの、売掛金で85,152千円、現金及び預金で14,771千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より17,865千円増加し119,276千円となりました。これは主に固定資産全体で減価償却が進んだことで9,966千円の減少があったものの、負荷分散サービス用設備等の購入等で工具、器具及び備品が14,485千円、同設備の長期保守契約等により長期前払費用が8,757千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末より24,613千円減少し765,290千円となりました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債は、前事業年度末より2,672千円減少し169,541千円となりました。これは主に前受金で6,905千円、1年内返済予定の長期借入金で5,015千円増加したものの、買掛金で18,665千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より5,240千円増加し183,254千円となりました。これは主に長期借入金で1年内返済予定の長期借入金への振替により47,169千円減少したものの、6月に金融機関から50,000千円の資金調達を行ったことにより2,831千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末より2,567千円増加し352,795千円となりました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末より27,180千円減少し412,494千円となりました。これは中間純損失の計上による23,743千円と、配当金の支払3,437千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末に比べ14,771千円減少し402,181千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は5,387千円（前年同期は7,990千円の使用）となりました。これは主に売上債権が85,152千円の減少があった一方で、前払費用が59,157千円の増加及び税引前中間純損失28,187千円を計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13,792千円（前年同期は30,439千円の使用）となりました。減少要因は有形固定資産の取得による支出13,793千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は4,408千円（前年同期は51,551千円の使用）となりました。これは長期借入金の返済による支出42,154千円及び配当金の支払額3,437千円があった一方で、長期借入金による収入50,000千円があ

ったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。尚、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	416,953	402,181
売掛金	222,816	137,664
リース投資資産	3,333	2,254
仕掛品	4,230	5,825
前払費用	38,742	97,887
その他	2,415	201
流動資産合計	688,492	646,014
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,065	7,079
工具、器具及び備品（純額）	45,101	52,435
有形固定資産合計	53,166	59,515
無形固定資産	15,506	13,677
投資その他の資産	32,737	46,083
固定資産合計	101,411	119,276
資産合計	789,903	765,290
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,489	43,824
1年内返済予定の長期借入金	74,329	79,344
未払法人税等	-	145
その他	35,395	46,228
流動負債合計	172,213	169,541
固定負債		
長期借入金	130,280	133,111
退職給付引当金	47,734	50,143
固定負債合計	178,014	183,254
負債合計	350,228	352,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	239,611	239,611
利益剰余金	188,474	161,293
自己株式	△ 88,410	△ 88,410
株主資本合計	439,675	412,494
純資産合計	439,675	412,494
負債純資産合計	789,903	765,290

(2) 中間損益計算書
(中間期累計期間)

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	528,325	594,127
売上原価	382,118	454,664
売上総利益	146,207	139,463
販売費及び一般管理費	167,428	167,098
営業損失(△)	△ 21,221	△ 27,634
営業外収益		
受取利息	22	176
補助金収入	3,330	-
受取奨励金	-	542
雑収入	8	25
営業外収益合計	3,361	743
営業外費用		
支払利息	650	1,296
営業外費用合計	650	1,296
経常損失(△)	△ 18,510	△ 28,187
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	0
税引前中間純損失(△)	△ 18,510	△ 28,187
法人税、住民税及び事業税	△ 8,847	△ 4,443
法人税等合計	△ 8,847	△ 4,443
中間純損失(△)	△ 9,663	△ 23,743

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失(△)	△ 18,510	△ 28,187
減価償却費	11,817	9,966
固定資産除却損	0	-
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,254	2,409
受取利息	△ 22	△ 176
支払利息	650	1,296
固定資産売却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	39,267	85,152
リース投資資産の増減額(△は増加)	△ 81	1,079
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 1,503	△ 1,594
前払費用の増減額(△は増加)	△ 1,512	△ 59,157
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 5,074	△ 18,665
未払金の増減額(△は減少)	△ 12,882	1,990
その他	△ 10,080	△ 722
小計	4,322	△ 6,609
利息の受取額	22	176
利息の支払額	△ 647	△ 1,276
法人税等の還付額	-	2,494
法人税等の支払額	△ 11,688	△ 171
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,990	△ 5,387
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 16,030	△ 13,793
無形固定資産の取得による支出	△ 14,409	-
その他	-	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 30,439	△ 13,792
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金による収入	-	50,000
長期借入金の返済による支出	△ 44,676	△ 42,154
配当金の支払額	△ 6,875	△ 3,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 51,551	4,408
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 89,981	△ 14,771
現金及び現金同等物の期首残高	480,266	416,953
現金及び現金同等物の中間期末残高	390,284	402,181

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

セグメント情報

当社は、CDN事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。